



# ウェルビー



**増築計画、現在進行中**



## 2021年12月 299床に！

今後、人口減少・高齢化に伴い医療ニーズの質や量  
が変化していきます。こうした状況下において、国  
は医療需要と病床の必要量を推計し、質の高い医療  
を効率的に提供できる体制を構築することをめざ  
しています。

そんな中、紀和病院におきましても、伊都橋本圏域  
の医療を守るべく、今般の新型コロナウイルス感染  
症への対応だけでなく、超高齢化社会に耐えること  
ができる医療提供体制を構築するために、増床・増  
築することになりました。今回 12 床を増床すると  
ともに、病床機能を再編成し、引き続き地域のニー  
ズに応えるべく運営して参ります。

- ・急性期病棟 54 床
- ・HCU 6 床
- ・地域包括ケア病棟 54 床
- ・回復期リハビリテーション病棟 55 床
- ・障害者施設等一般病棟 52 床
- ・医療療養型病棟 58 床
- ・緩和ケア病棟 20 床

### 駐車場について

工事に伴う駐車場の減少により、送迎の際に混み合い時間  
がかかる場合があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解と  
ご協力のほどお願い申し上げます。

# 大学病院連携

和歌山県立医科大学附属病院  
リハビリテーション科

紀和クリニック  
× リハビリテーション科

脳卒中、外傷性脳損傷、神経筋疾患、切断、脊髄損傷など

脳卒中の後遺症 手足のつっぱりに対する<sup>けいしゆく</sup>痙縮治療

和医大まで通院されている方

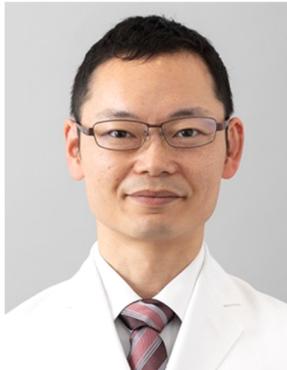
身体障害者手帳の相談

和医大退院後、通院が必要な方

義肢装具の相談・調整



第1火曜日午後  
梅本 安則医師



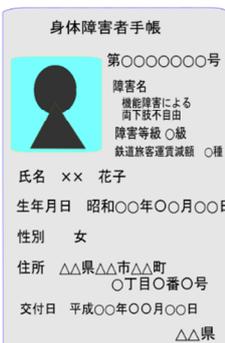
第3火曜日午後  
坂野 元彦医師



第2・4火曜日午後  
三上 幸夫医師

## 【次のような症状を扱っております】

- ・手足に麻痺や不自由がある
- ・食事、更衣、トイレ動作など身の回りの動作がうまくできない
- ・関節の痛み、変形、可動域制限がある
- ・筋力低下があり動きが悪くなった
- ・持続する腰痛のために日常生活に支障がある
- ・義肢（義手・義足）を作りたい
- ・上肢装具、下肢装具、車椅子、座位保持装置などを作りたい



# 機能や障害の診断・治療

# リハビリテーション科

# 和歌山県立医科大学 専門医・指導医による

紀和クリニック ☎ 0736-34-1255

# 乳がん検診

盛り上げよう！  
街中がピンクリボン鞆で賑わう 10 月に！

# 啓発サポーター

# 大募集

先着

100 名



お買い物で啓発！

申込期間 9月22日～\*100名に達し次第終了

私たちが日頃身に着けている「チーム ブレスト」のピンバッジが、鞆になりました！乳がん月間の10月、私たち「チーム ブレスト」の一員になってみませんか！

応募条件は、「3つ」！ 年齢や男女の条件、まったくナシ！！

- ① ピンクリボン鞆(2個)を紀和病院まで受け取りに来てくれること
- ② あなたが啓発したい家族や友達に鞆を渡して、「鞆を持った二人が写っている写真」と、「ひとこと」を添えてメールで送ってくれること
- ③ 顔写真の公開がOKなこと

\*公開は写真のみです。名前等の個人情報は一切公開・掲載しません



学校で啓発！



実寸(イメージ図)  
巾 250×袋丈 150×底マチ 80mm



出勤で啓発！



仲間で啓発！

## サポーター登録のご案内 \*お一人2個(あなたと啓発したい家族・友達用) 1回限り

- ① 健康管理センターでサポーター登録用紙へ必要事項を記入
- ② オリジナル鞆2個を受け取る  
\*受付時間 13時～17時  
\*電話での受付はできません
- ③ 橋本市や伊都郡、五條市などの街で、検診啓発活動開始！
- ④ 鞆を持っている啓発活動の様子を、人物も一緒に写真に納まるように撮影してください！
- ⑤ 10月31日(日)までに、選りすぐりの「写真1枚」と「ひとこと」を添えて、乳がんいのちプロジェクトまで、メールで送信してください！

活動写真送信先☒アドレス：[inochi-ribbon@nanroukai.or.jp](mailto:inochi-ribbon@nanroukai.or.jp)

ご家族、ご友人、職場のみなさんで！ぜひ乳がん検診啓発活動に参加してください！！

\*お送りいただいた写真は、院内掲示や広報誌、ホームページやfacebook等、広報活動やSNSで使用。なお、記載いただいた個人情報は、活動記録管理ならびにご本人への問合せ以外には使用しません。ご本人の同意がなければ第三者に個人情報を提供することはありません。

乳がんいのちプロジェクト実行委員会 ☎(0736)34-1317  
医療法人南労会 紀和病院・紀和ブレスト(乳腺)センター

# 教えて！院内研修制度 「療法士による喀痰吸引研修」修了者さん



## 紀和病院での取り組み!!「療法士による喀痰吸引研修」とは

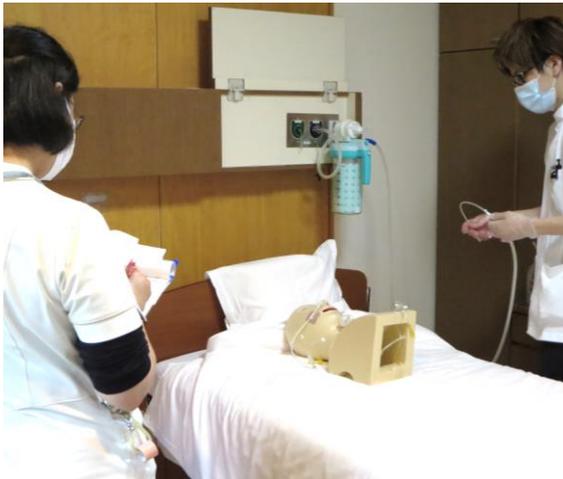
平成 22 年から、療法士 (PT・OT・ST) も喀痰吸引を行なう事が厚生労働省から認められました。しかし、実際の教育内容・研修内容に規定はなく、養成学校で研修を受けている事は少ないのが現状でした。そこで、2016 年度から当院では、看護部教育委員が中心となり、独自の研修プログラムを実施して喀痰吸引のできるセラピストを養成しています。

療法士による  
喀痰吸引のメリットって？



現在 15 名のセラピストが  
研修を修了して活躍しています。

リハビリ訓練中に喀痰吸引が必要になった時は看護師を呼び吸引をしていました。看護師が到着するまでにタイムラグができるため、患者さんがつらい苦しい時間をお待たせする事が多々ありました。セラピストが喀痰吸引できる事で、必要に応じその場で対応できるようになりました。



研修中の様子

私は、普段一般病棟にて勤務させて頂いています。大半が急性期の方で、またその中でも肺炎などの呼吸器疾患の患者さんを担当させて頂く機会が少なくはありません。発症初期では喀痰が多いがために酸素化が悪く、また自身で喀出できないことが問題となってしまうことが多いため、呼吸理学療法として、介入当初は痰の出しやすい姿勢への体位変換や呼吸介助を行い、ご自身で咳嗽にて喀痰できるか、困難な方は看護師さん呼び、鼻腔や口腔から吸引を行って頂いていました。

今回理学療法士でも吸引できる機会を設けて頂き、辻本師長からの指導や演習、実技テストを通して、現在は担当患者さんの吸引を施行させて頂いています。排痰訓練後から吸引までのタイムラグがなく、すぐに行えるようになったことで、少しでも気道の浄化や誤嚥、窒息のリスクが回避出来ているのではないかと感じています。

smile



療法士 喀痰吸引研修 修了者より



介護老人保健施設ローズ



居心地のいい場所

当院協力施設

ゆったり・・・  
まったり・・・

介護老人保健施設は病状が比較的安定し、入院治療よりも看護や介護を中心としたケアを必要とする方や、自宅での療養には不安がある方に対し、食事・入浴、排泄等のお手伝いをします。またリハビリテーションをはじめ、毎日のレクリエーションを通じ、人とのふれあいの中でお年寄りの自立を支援し、ご家庭への復帰を目指して利用者やご家族をサポートさせていただきます。

介護老人保健施設 ローズ

奈良県五條市二見5丁目3番64号  
電話 0747-22-5200



## ハギノ眼科クリニック

院長 萩野 雅洋 先生

石川県を中心に福井、富山、宮城、新潟と寒く暗い雪国を彷徨った後、平成11年に開業しました。その前年の秋に当時在籍していた医局の教授に「早くおっかさんの所に帰ってやれ」と円満に首を告げられ

急いで開業準備にかりました。手術はしない（出来ない）、大した医療機器も無い、外来だけのごく一般的な診療所です（開業時から現在まで典型的なつぶりです）。開業の案内状にはこれからは地域医療に貢献しますと書いたような記憶がありますが本当は大学の医局時代の永遠に終わらないような雑用の山から逃げられるなら何でも良かっただけ。しかしいざ開業してみると色々大変で一年も経たないうちに就労意欲も無くなり浴びる程の酒と睡眠導入剤無くして寝れない状態が今も続いています。以前はゴルフなどもしていましたが数年前に血圧が230/130位（今は少し落ち着いていますが）になってからはもっぱらみんなゴルで車も鈴鹿にも走りに行っていたのが今やプレステで安全運転。完全インドア派の最難弱メンタルの超ネガティブ思考です。

紀和病院との関わり？、記憶が正しければ開業直後に母親の具合が悪くなり入院させて頂きそこで慢性硬膜下血腫と診断され橋本市民病院で同日中に手術になりました。前院長の西口先生にお会いしたのもそれが最初です。おかげさまでその日の夕方には見違えるほど元気になってました。次は開業1年目か2年目かに紀和病院の糖尿病患者の会で糖尿病網膜症についての講演依頼を頂き話をさせて頂きました（心の声：右も左も分からない新米開業医には荷が重い）、その数年後に僅かな期間でしたが人間ドックの眼底写真の解説の手伝いをさせて頂きましたがドックでの眼底写真は動脈硬化の程度と緑内障の疑い位しか要求されません（心の声：眼底写真で撮れる範囲は面積でいえば全眼底の10%位、ちなみに眼球は直接血管を観察できる唯一の器官で、意外とと思われるでしょうが眼底写真に写る太くて赤い血管が静脈で、細くて淡い赤色の方が動脈です）。母親が倒れたときは本当にありがとうございました（後日、佐藤先生に院内カンファレンスもしていただいたとお聞きしました。心より感謝いたします）。あと極付は自分が肺炎で入院しお世話になりました。又ご迷惑お掛けました。看護師さんも皆さん優しく頂き今更ながら患者さんの気持ちが少し理解できるようになりました。世間が9連休や10連休と騒いでいるときに怒涛の16連休となりこの時は本当に潰れるクリニックになるかと覚悟しましたが平成最後の日に退院し自宅で令和を迎える事が出来ました。今これを書いている時もコロナの第5波の真っ只中で、学会、講演会、医師会の総会、新年会、食事会、旅行、忘年会、懇親会 etc が中止になっています。最近は学会、講演会な

どはオンラインやハイブリット化されましたが少しボケてきた頭には知識は入ってきませんが他科や三師会の先生、看護師をはじめコメディカル、他職種の方々からの生の情報がリアルタイムで入ることがいかに重要だったのか再認識しています。最後になりましたが世界中の皆様の健康と紳士的、社交的、文化的な夜の医師会活動が出来るよう切に願ってやみません。

\*本文は院長 萩野 雅洋 先生よりご寄稿いただきました。



## ハギノ眼科クリニック

橋本市高野口町名古屋 700-3 Tel 0736-44-2120

### 新型コロナウイルス感染症



## ワクチン接種の予約 受付中

**予約** 受付時間 13:00~17:00

※土・日・祝日を除く

予約方法 紀和クリニックにお電話ください。

**0736-34-1255**

接種費用

**無料**

(全額公費)

### 【接種回数と接種間隔】

2回の接種が必要です。

ファイザー社のワクチン:通常、1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けます。1回目から3週間を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。